

主任・リーダー看護師対象

# RRT<sup>※</sup>勉強会を開催しました!

～『困ったらRRTにご連絡を』～

チームで  
患者さんを守るために



今回の講師は、これまでRRTの第一線で活動され、多くの急変対応に携わってこられた先生です。豊富な経験をもとに、急変の早期発見・早期対応の重要性や、RRTを活用するタイミングについて分かりやすくご講義いただきました。

※Rapid Response Team(ラピッドレスポンスチーム):急変予兆のある患者に早期介入する専門チームのこと



## 困ったらRRTにご連絡

看護師のみなさんの協力なくして、患者さんの適切なマネジメントはできません。ベッドサイドで患者さんに最も近い存在であるがゆえに、いろいろと大変なこともあるでしょう。個人の判断で診療科を越えてRRTコールすることは容易ではありません。

1人1人が仕事をすることも大切ですが、集団からチームとなるのが肝心。

Thank you for calling精神でRRTはやってます

講義では、バイタルサインの変化から急変を予測する視点や「様子がおかしい」と感じた時の判断、「困ったらRRTにご連絡」という考え方、一人で抱え込まずチームで患者さんを守ることの大切さなど、日々の看護に直結する内容が数多く紹介されました。

特に印象的だったこと  
「急変の第一発見者として患者さんに最も近い存在は看護師」というメッセージです。

### 今回の学びのポイント

- バイタルサインの変化から急変を予測する視点
- 「いつもと違う」に気づく観察力の大切さ
- 迷わず相談・報告することの重要性
- RRTを活用し、チームで対応する安心感



急変を未然に防ぐためには、看護師一人ひとりの観察力と、迷わず相談・報告できる環境が重要です。今回の学びを病棟で共有し、患者さんが安心して治療を受けられるよう、チーム医療の充実につなげていきます。

今後も継続的に学びを深め、質の高い看護の提供を目指します。